

【学習のねらい】

日常的に行われているさまざまな行為や仕事について、ジェンダーの視点からとらえ直してみることによって、自分の中にある性別による役割分担意識を知り、日常の生活を見直す機会とする。

【準備するもの】

- ・ワークシート（個人用1枚・グループ用1枚）
- ・付箋

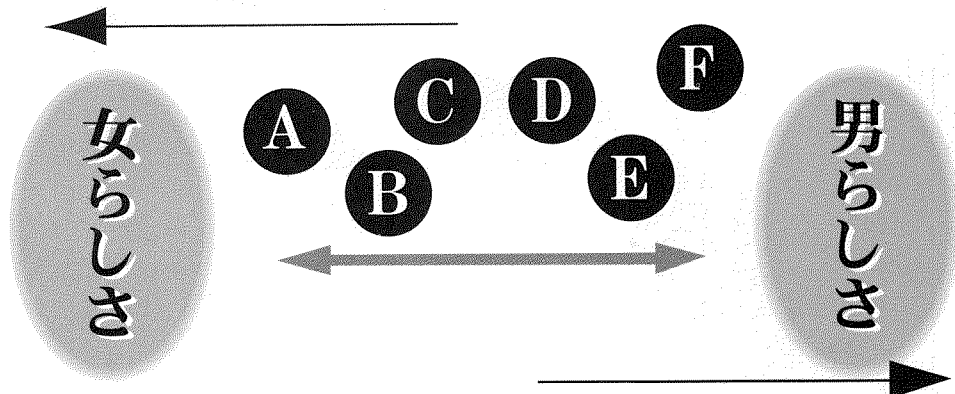
【留意点】

- (1) 理想のあり方を求めるのではなく、自分の生活を見つめて記入できるようにする。
- (2) グループで、カードを貼った理由について話し合い、お互いの意識を共有しながら、ジェンダーフリーに対する感性を養う。

【進め方】

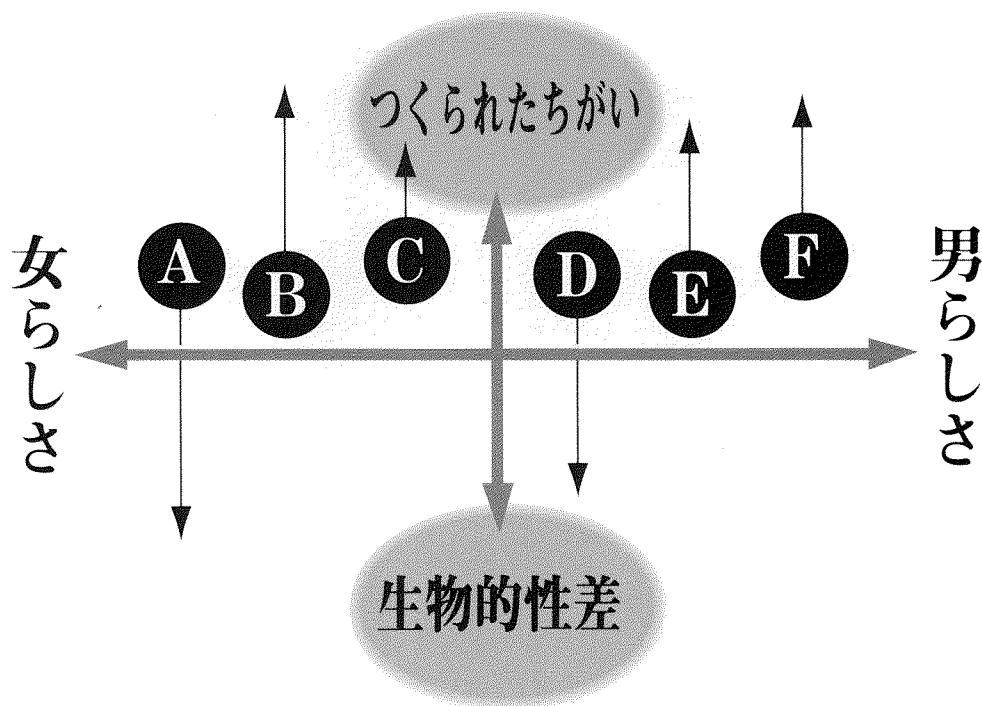
- (1) 各自で、ワークシートに自分の日常生活について、各項目が「女らしさ」の側か「男らしさ」の側か考えて貼る。

どちらかというと**女性**が行っているという意識



どちらかというと**男性**が行っているという意識

(2) 各自で、(1)において軸の左右に貼った各項目が、「つくられたちがい」による意識か「生物的性差」による意識か考え、軸の上下へ移動させる。



(3) グループワーク：各自の結果から

- 位置が一致した項目は何か。
- 位置の異なった項目は何か。
- 位置の異なった項目について、グループで話し合い、位置を決める。
- なぜ、性別により分担してしまう意識が払拭できないか話し合う。

(4) 全体ワーク：発展として

- 各グループのシートを見ながら、話し合った内容について発表し合う。



車座になって語り合う学習会



模造紙上でジェンダーチェック（グループ学習）

※参考図書：「参加型で伝える12のもの見方・考え方」ERIC国際理解教育センター

つくられたちがい

女性らしさ

男性らしさ

生物的性差

項目

- | | |
|----------------------|-------------|
| A 授乳する | M 大事なことを決める |
| B 赤ちゃんを風呂に入れる | N 区総会に出席する |
| C 食事を作る | O 電話に対応する |
| D 家の掃除をする | P 重いものを運ぶ |
| E 洗濯をする | Q 育児休業を取る |
| F 病気の子を看病する | R 介護休業を取る |
| G 病気の子を医者へ連れて行く | |
| H 子どもの家庭学習を見る | |
| I 子どもの参観日に出席する | |
| J 家庭ゴミを分別して、指定場所へ捨てる | |
| K ちょっとした家の修理をする | |
| L 車を洗う | |